

中国·四国合同推進員研修

県を越えた交流で活動活性化を目指す

10月18日に、中国・
四国ブロックの地球温

オンラインで中国・四国の推進冒
が交流

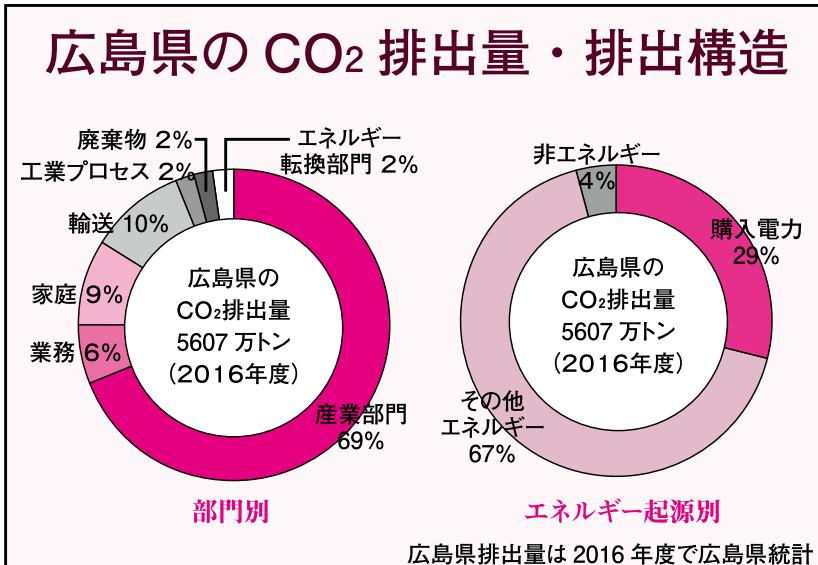


10月18日に、中国・四国ブロックの地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化防止活動推進センター職員103人が参考集し、合同研修会を開催しました。今年度は感染症対策として、オンライン参加と各県の会場で参加できるハイブリッド方式で開催しました。

広島県からは、オンライン参加7人と広島市内の研修会場に参加した13人を合わせて、20人の推進員及びセンター職員が参加しました。

今年度は、「脱炭素社会の構築に向けた最新情報を習得し、推進員としてどのような取り組みができるかを考え、実践できる準備を





午前中は、「脱炭素社会構築と市民の役割」と題して、国立研究開発法人産業技術総合研究所・歌川学氏にオンラインでご講演いただきました。

各県の二酸化炭素排出量と排出構造の特徴を解説していただき、広島県は福山地区や呉地区の鉄鋼業など、産業部門からの排出が約7割という特徴がありました。

自治体と市民が協力する取り組み例のうち、建物・設備・インフラの脱炭素転換での

専門研修「企画づくりコース」開催 仕組みと力ネの支援で課題解決へ



企画シートを利用して、規格作りの手順を学びながら企画づくりを行う

今年度は
かねてから西
望のあつた日
帰り研修(半
会東部支所
福山市)と岩
来の宿泊研修
(グリーンピア
せとうち・島
市)を実施し

で整理しました。遠くからお越しの企画を発表し、講師や他の参加者の意見を踏まえてブレーンストormを実施し、シミュアップしていく予定です。

今回企画された二例を紹介します。

トなど「ミミコ」のいきわいづくりを行う。いう、夢の広がる企となりました。

ひがいの作戦で、事業所との連携、外國語の看板作成、複数の学区と一緒に取り組むことが企画のポイントです。

次年度に向けて、協力者や役員会などでくわんとした取り組みを協議し、事業化されることを期待しています。

協力例や、市民が脱炭素社会転換に参画するため、推進員が情報発信として考えられるものなどを紹介していました。

午後は、各県でワークショップを行いました。広島会場では「2050年にわがまちでネット・ゼロカーボンを実現するため、TEAMで取り組むことは何かを考えよう」というテーマでワークに取り組みました。

Digitized by srujanika@gmail.com

www.oriental.com

堺 天満川の指揮保全

保人和承保人

協 身近な自然に心

www.silvano.it

当協会が立地する付近の天満川は、太田川水系から分流する位置で太田川デルタ域にあたります。太田川デルタ域は緩やかな流れの下流域が短く水質が悪化していくことや、汽水域で栄養塩が豊富であることから、多様な生物が生息していることが特徴です。この天満川を舞台とした2つの活動を紹介します

天満川が汽水物が生息していをスタッフから【環保協前天満川クリーン作戦】
2010年から川クリーン作戦を始めた。近隣の川側駐車場

【天満川自然観察会】
2011年から始まり8回目となる自然観察会を、10月16日に開催しました。今回は天満川に生息する「魚の観察」をテーマに、広瀬小学校の担任・町内会の親子



網にかかつた魚をのぞき込む
参加者（左）、川の中にあつ
ごみを清掃する職員（右）